

『認知症サポーター養成講座』をおこなっています。



『オレンジリング』をごぞんじでしょうか？オレンジ色の“輪っか”を手首にはめている人や、名札などにぶらさげている人を見たことはありませんか？あれは「認知症サポーター」の証です。認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、ふだんの日常生活の中で、ほんのちょっとした心づかいで、認知症の人とご家族をあたたかい目で見守ろうとする人たちです。

各務原市地域包括支援センターでは「認知症サポーター養成講座」をおこなっています。地域包括支援センターつつじ苑でも、主に稲羽地区の近隣ケアグループやシニアクラブ、ボランティア団体のみなさんなどにお話をしています。



平成 18 年度から、先日の講座（平成 23 年 7 月 6 日稲羽シニア

クラブ連合会：稲羽コミュニティセンターにて）まで、地域包括支援センターつつじ苑が講師を務めた分では、稲羽地区で開催 13 回、400 名以上の認知症サポーターが誕生しています。他の講師や各務原市全域が対象の講座などを受講した方もおられますので、実際にはもっと多いです。

でも、普段からオレンジリングを手にはめることは、なかなかできないかもしれません。想像しただけでも、いろんな理由が思いつきます。「何だか照れくさい」「自分からアピールするほどではない」「夏は暑くて汗をかくから身につける物をご勘弁」「敏感肌だからスキントラブルが心配」「虫よけリングと間違われてしまう」などなど・・・。

稲羽地区の認知症サポーターのみなさんは、オレンジリングを身につけている人も、いない人も、自然なかたちで認知症の方やご家族の力になっておられるようです。



『認知症サポーター養成講座』に興味がある方、ご連絡ください。

電話 058-371-2226 FAX058-371-8431 (担当 長谷川・西脇・林)